

2019年9月号 ぴらたんニュース



京都にちなんだ
話題をお届けします
京style



～のれん～

のれんはお店の存在を知らせるだけでなく、お客様を迎え入れるおもてなしの心も表しています。また、職住が一体となった京町家では、店と奥の住居を仕切る役割を担い、重宝されてきました。特に商家にとって、のれんを守るとい言葉があるように、のれんは“店の顔”であり、信用の象徴でもあります。

のれんには目的に応じていくつかの形があるのをご存知ですか？店内の日よけや目隠しに好まれるのが、「長のれん」で、呉服店や宿でよく見られる形です。京都では、奉公人が独立する際には、主人から長のれんを与えられるという習わしがあり、信用の象徴でもあります。私達が一番よく目にする「半のれん」は、のれんの間から店内の様子を伺えるので、飲食店でよく用いられてきました。「水引のれん」は40cmほどの丈の短い布を間口いっぱい張ったもので、魔よけとして用いられていたと伝わります。

色にも決まりがあり、藍色は、防虫効果があったことから呉服店や飲食店で多く使われ、白は、砂糖や紙の色に通じるところから、菓子屋や紙屋が好んで使いました。古くは薬に砂糖を使っていた為、薬屋でも用いられました。柿色は、江戸時代初期に花街、茶屋、置屋にのみ許された色でした。かつては業種によって厳密に色分けされていたため、違う色を用いると物知らずとして笑い者になったという逸話も残ります。



学校の象徴に欠かせない **学校旗**

消防団の士気に欠かせない **消防団旗**

勝利の証に欠かせない **優勝旗**

【取扱商品】

応援団用品 のぼり 染め旗 横断幕 のれん 手拭い ハッピ
太鼓 祭礼幕 ちょうちん 神社仏閣幕 神社のぼり 社名旗
鈴緒 劇団幕 マーチングバンド横幕 タスキ 腕章
ピンバッジ 缶バッジ ワッペン 演台カバー



株式会社 平 岩

〒604-0907 京都市中京区河原町通竹屋町上ル大文字町 241

TEL : 075-222-1041 / FAX : 075-222-0843

MAIL : web@kyoto-hiraiwa.co.jp

※ 配信停止をご希望の方はお手数ですが
「配信停止」と記入いただき、ご返信ください

今すぐ
アクセス！ **京都 平岩**